



豪雪津南町で地元建築協議会の除雪ボランティア活躍中！

3メートル余りの積雪で1階部分がすっぽり埋まった高齢者世帯宅の屋根や軒下の雪を除雪。

[写真提供 (有)津南新聞社]



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



ガバナー月信
2012.03.01

Vol. 9

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2	クラブ紹介 新潟中央ロータリークラブ	8
国際協議会に参加して	3	クラブ紹介 新潟西ロータリークラブ	8
第2回米山奨学委員会セミナー	4	新入会員・物故会員報告	9
第2回ロータリー財団セミナー	5	出席報告	
本願寺訪問	6	ハイライトよねやま / 文庫通信	
元米山奨学生を訪ねて	7		

石本ガバナー事務所 〒951-8053 新潟市中央区川端町2丁目12 2階 TEL: 025-201-7802

国際ロータリー第2560地区2011-2012年度ガバナー：石本 隆太郎

3月は識字率向上月間

グローバル補助金の活用に向けよう！



ガバナー 石本隆太郎

2月21日から24日まで、第2580地区と第2750地区の地区大会出席のため上京し、24日は当地区の社会奉仕委員会セミナー、25日もPETSが長岡市で開催されるので、新潟に戻りました。東京での4日間とも小春日和並みの晴天続きでしたが、上越新幹線でトンネルを抜けた途端、“一面の銀世界！”まさに小説「雪国」を実感しました。車窓から見る湯沢の町は高層マンションが林立し、平日のせいか、ほとんど客の乗っていないスキー場のリフトが空しく動いているだけで、この風景を見たら、川端康成はどう思ったのでしょうか？

25日のPETSは、鈴木重壺ガバナー・エレクトが主役となり、次年度RI会長の田中作次さんの年度テーマの報告始め、次年度の地区運営方針等について詳しく説明され、いよいよ年度の引き継ぎ時期に入ったことを実感いたしました。振り返れば、昨年のPETSは3月11日の東北大震災の1週間後でしたので、会場内外の看板は取り外し、懇親会におけるアトラクションやアルコールは自粛。被災地への様々な思いが錯綜する中でのPETS開催でした。今年の地区大会は4月の21日～22日に予定しており、まだまだ気の抜けない日が続きますが、残りの4カ月間、引き継ぎと仕上げに、会員皆様のご協力をお願いいたします。

3月は「識字率向上月間」とされています。我国においては「識字率」が話題になることはほとんどありませんが、国際ロータリーの資料によれば、全世界で6億7,700万人（16歳以上）が読み書きできず、7,500万人の子どもが、教育を受けていないとのことであります。貧困と識字率の低下が、世界平和を脅かすということで、ロータリーが「基本的教育と識字率の向上」を重点分野の一つに加えているのは当然のことです。

私も2006年の8月、家内の師事する声楽家の中澤 桂さんが、認定NPO法人日本ネパール女性教育協会の主催で、ネパールの観光地ポカラの女子師範学校の「さくら寮」開設記念チャリティ・コンサートに招かれた際、家内と共にツアーに参加。ポカラと首都カトマンズで行われた記念演奏会に出席してまいりました。

ネパールは男性中心社会で、特に遠隔地の親は、女の子には勉強より家事労働をさせる傾向が強く、学校にも行けない子供が多いそうです。この女子師範学校はNPO法人と提携して、地方の優秀な少女を教師として養成するため「さくら寮」を建設。毎年10人の少女を選抜し、2年間の教育課程を修了した後、故郷の学校で3年間勤務する条件で、NPO法人がこの間の学費から生活費の面倒を見ながら、10年間で100人の「おなご先生」を養成するこのプロジェクトは、現在、6年目に入っており、2010年には長岡市より「米百俵賞」を受賞しています。

世界中には、基本的教育と識字率向上に関するプログラムは山ほど有ります。貴クラブも、R財団のグローバル補助金の活用に向けよう！

国際協議会に参加して

国際ロータリー第 2560 地区

ガバナーエレクト 鈴木重吉

去る 1 月 15 日から 20 日までの 6 日間米国カリフォルニア州サンディエゴにおいて開催されました国際協議会のご報告をさせていただきます。

この度の国際協議会で何よりも痛切に感じたことはロータリーが危機に直面しているという事実でありました。加えて、我が国は東北大震災を始めとする災害からの復旧復興と財政危機からの脱却、さらには国際競争力の強化、少子化による人口減と、幾重もの危機を抱えております。そのような現状の中、ロータリーの活動は如何にあるべきかを考えさせられました。田中作次 RI 会長エレクトは年度のテーマを「奉仕を通じて平和を (Peace through service)」というロータリーの究極目標というべきスローガンを掲げられ、ロータリーの力を結集して世界に平和を築いていくよう呼びかけられました。

まさしく、わたくしが地区のモットーとして掲げた「恕を以って和を為す」と同軸の理念であることがとても嬉しく感じられました。なぜならば恕とはすべてを超えた慈しみ(如来の如き心)であり、その精神こそ「真の平和」へいざなう道であるからです。個々に宿る恕の心根を以ってロータリーの和を保ち「奉仕を通じて平和を」の実現につなげようではありませんか。そこにこそ「超私の奉仕」の姿が宿り、「最もよく奉仕する者は最もよく報われる」という意味が実感できると確信いたします。私たちはこのメッセージを形骸化することなく、日本から世界へ向けて「平和への道づくり」を進める気概を持ちたいものだと感じた次第です。

国家や地域の活性化の為には、それを支える個々の組織が発展しなければ画餅に過ぎません。

ロータリーも同様で、次代を担う世代の育成は国の内外を問わず我々の第一義の責務であると考えます。それには五大奉仕の各部門が共通した理念の元に、協働して行く必要があります。ロータリーのそれぞれの活動が生きた活動として発展するには地域の皆様に「ロータリーが常に地域と一体になり、支えとなっている」という「信頼と安心を持ていただく」ことが大切との思いを新たにしました国際協議会でした。



田中作次ご夫妻と



田中氏の年度テーマ旗

第2回米山奨学委員会セミナー

米山奨学委員会 寄付増進委員 長部 三郎(長岡RC)



2月4日(土)ANAクラウンプラザホテル新潟におきまして、石本ガバナー・植木パストガバナーご出席の下、登録者81名で第2回米山奨学委員長セミナーが開催されました。

石本ガバナー、新保委員長の挨拶の後、卒業を間近にひかえた米山奨学生、

高雲さん(世話クラブ:新潟西RC 国籍:中国 新大生)

李碩さん(世話クラブ:佐渡南RC 国籍:中国 新大生)

お2人の「体験発表」が行なわれました。

続いて「事例発表」。上半期12月末時点で寄付額第1位の長岡RCの長部より寄付増進活動についてのスピーチが行なわれました。

その後、10グループに分かれて「グループディスカッション」が行なわれました。①現在どのような方法で寄付金を集めているか? ②どのようにしたらスムーズに寄付金を集められるか? 各テーブルでは活発な意見交換があり、それぞれ代表者から発表が行なわれました。①では各委員長の対応、奮闘ぶりが紹介され、②では奨学生を受け入れているクラブとそうでないクラブとの温度差も指摘されておりました。

終わりに公益財団法人ロータリー米山奨学会理事を務めておられる植木パストガバナーより講評をいただき、有意義な雰囲気での閉会致しました。



こううん
高雲さん



りせき
李碩さん



地区第2回財団セミナーの報告



ロータリー財団委員会 委員長 中條 耕二(三条北RC)

ロータリー財団委員会 副委員長 水上 喜芳(高田RC)

2012年2月18日(土)地区財団セミナーは大雪にもめげず、県下各地よりクラブ財団委員長をはじめ80%以上出席、講師としてはRI理事エレクト 北 清治氏を迎えて午後1時30分に開催されました。

“未来の夢計画”の冊子を全員に配布し、新潟県出身の田中 作次 RI会長エレクトと同じく新潟県出身の北氏の活躍を願いながら、進行は渡辺 嘉子氏(新津中央RC)のもと、会議は午後4時30分迄、質疑あり、順調に進められました。

以下、水上副委員長が会をリードされましたので報告いたします。



今回の第2回財団セミナーは、例年この時期に開催しています財団セミナーの内容に加え冒頭、中條地区財団委員長が申し上げました「未来の夢計画」について、1時間と少し短いのですが、北様を講師に迎え、次年度クラブ財団委員長にも参加を頂きご講演を頂きました。

ご承知のとおり、2013-14年度から新地区補助金制度に移行、来年度はその準備研修年度になります。その意味で、今回のセミナーのもう一つの目的は、「未来の夢計画」で何が変わるのか、そのため自分のクラブは何をしなければならないのかを掴んで頂く事にありました。

次年度2012-13年度になれば、いろいろな機会を捉え研修会が開催されると思われますが、既に2013-14年度の奨学生の募集は、今年度4月に事実上スタート致します。

したがって地区役員や各クラブの財団委員、会長、幹事の皆さんには、新地区補助金制度下での奨学金制度の変化を理解して頂く必要があります。

また、各クラブの組織的な対応の一つとして、地区補助金制度が単年度制から「計画年度」と「実施年度」の2年度制になり、そのためクラブ財団委員会あるいは社会奉仕委員会など地区補助金計画に係わる委員会では単年度での委員交代ではなく、委員任期の2年度交代制の検討を行って頂く必要があります。

その様な事でいち早く、「未来の夢計画」を理解して頂くためのセミナーを計画実行させて頂きました。

今更言う事でもありませんが、ロータリー財団は、ロータリーの基本理念を実践するための重要な役割と目的を担っています。

今となっては、幻の決議となってしまう『決議23-34』は、「奉仕の理想」が「自利利他」に通ずると言った表現が日本人の私にとって、すっきりと心の中に入る坐りの良い表現でした。

「半ば自分のため、半ば他人(ひと)のため」その心の葛藤と調和をはかりつつ世界でよいことをして、尊敬されるロータリアンになることが理想だと思っています。

大変な大雪、足元の悪い中、セミナーにご参加頂きました各クラブの財団委員長さん、また準備をして頂きました役員の皆さんに心より感謝申し上げます。



本願寺の法要に参って

直江津ロータリークラブ 直江 智成（真宗大谷派 林覚寺住職）

昨年は小職の所属する宗派、真宗大谷派のご本山東本願寺では宗祖親鸞聖人の 750 回御遠忌法要が春と秋に勤められました。職務上何回かお参りする予定を立てていましたが、その折にクラブ会員のご門徒の仲間に声をかけたところ、是非行きたいという返事を頂き、それではと 2560 地区第 7 分区の中より、地域のご住職のご紹介を得て約 100 名の方をピックアップすることが出来まして、中には大島パストガバナーもおられ、その力も借りる中で、募集したところ 15 名（小職を含めて 16 名）の申込を頂き実施することとなりました。当初は 4 月に参る予定でしたが東日本大震災の影響で大きく日程が変更されたため、秋 11 月 28 日のご正忌報恩講に参るよう企画の変更となりました。

RC の会員はとかくご寺院の役員をされている方が多いのですが、実際にはなかなか寺へ参ったり、ましてやご本山まで参られる方は少ないのが現実です。是非 50 年に 1 度のこのたびの大法要に参拝頂ければという願いもあっての行動でした。仲間には観光会社の社長さんもおられ、積極的なご協力も頂き、楽しくまた、有意義な企画となりました。



大きな御堂いっぱいの老若男女。前泊の奈良から京都への移動は混み合う道路事情で、開式ぎりぎりの到着。小職は法衣での出仕のため、別行動となりましたが、後刻お聞きしますと、参拝の席は最後列にしか席を取れなかったとの事でしたが、とにかく初めて体験される大法要。感激はひとしおであったとのこと。

2 泊 3 日の往復のバスの中、また、ホテルや別席（舞妓さんをお呼びしました）での宴会に、異なるクラブの仲間でしたが和気藹々と楽しくもあり有意義な旅でした。

合掌



元米山奨学生を訪ねて

新潟西ロータリークラブ 神初 周吉



勤務先病院の院長先生を表敬訪問

平成 24 年 2 月 5～8 日の 3 泊 4 日の日程で、新潟西 RC 元奨学生、孫曉梅さん(2008 年 4 月から 2010 年 3 月・新潟大学医学部博士課程卒業生)の招待を受け、当クラブの片野勉さん(同生のカウンセラー)を団長に神成肅一さん・青池秀夫さん・神初周吉の一行 4 名が新潟空港から中国ハルビンを訪ねてきました。

翌日、我々一行は孫曉梅さんが勤めている同病院の任旭院長(日本に 1 年滞在経験あり)へ表敬訪問したところ、同病院には日本の医療機器が導入され、今後も継続的な導入計画があるとのことでした。又、毎年日本に数名、医療研修を実施されていると日本語で答えられ改めて国際交流に繋がっている実感を得ました。

元奨学生の孫曉梅さんは、現在黒龍江省医院消化病医院の医師として活躍中。元米山奨学生の活躍ぶりを目にするにつけ、頼もしく感じました。

孫曉梅さんのご主人や 1 人息子のメイ君(中学 2 年生・日本語が実に堪能で現地の通訳で大変助かった)等から我々一行を家族総出で熱烈歓迎して頂き、親戚の方も同席し丁寧な感謝の言葉を頂き、食事也是中国最大の料理と温かいもてなしを受けました。

丁度訪問した期間が中国の端午祭りで、商店街は賑わい夜の街のいたるところで厄除けの花火や爆竹を惜しむもなくボンボンあげ、夜中の 12 時頃まで賑わいを見せ、日本では到底体験出来ない他国ならではの慣習を味わいました。



歓迎晩餐会

改めてロータリーアンの一員として、とても嬉しいハルビン訪問となりましたが、ハルビン訪問で感じたのは、孫曉梅さんのカウンセラーだった片野勉さんの支援の大きさにも感慨新たにしました。



ハルビン市内の夜景



ハルビンの氷祭り

3月 地区の予定 ～～識字率向上月間～～

2012 年 3 月		地 区 主 要 行 事	会 場
3	(土)	米山奨学生終了式・歓送会	万代シルバーホテル(新潟市)
10～11	(土～日)	第 24 回全国ローターアクト研修会	朱鷺メッセ(新潟市)
18	(日)	村松 RC50 周年	さくらんど会館(村松)
22～25	(木～日)	インターアクト海外研修旅行	清傳高級商業職業学校(台湾)

会員増強と退会防止でクラブの活性化を

新潟中央ロータリークラブ 会長 渡辺正雄



1993年3月19日 RIより加盟承認を受け、チャーター・メンバー45名で発足致しました。

その後会員増強を積極的行い、一番多い時には57名となりました。しかし、2000年以降は、残念ながら退会者が続出して、本年度は22名でのスタートとなりましたが、幸いにも新会員が1名入会し、現在は23名でのクラブ運営となっております。

当然のことですが、本年度の最重点目標は、会員増強と退会防止です。1人でも会員を増加する努力を行い、クラブの活性化を図って行かなければなりません。小人数では行動がともないません。小人数の中での親睦をもっと密に行い、わだかまりの無いクラブを作っていきたいと思っております。

また、来年度は20周年という大きな節目をむかえます。これから実行委員会を中心として、具体的な記念事業を検討し、会員の皆様方と力を合わせて、取り組んでいこうと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

2月14日の例会は、向陽高校インターアクトクラブ顧問の鈴木先生と長谷川会長他5名の皆様方を迎え、優秀インターアクター表彰の伝達を行いました。

元気プロジェクト 餅つき大会

新潟西ロータリークラブ 社会奉仕委員長 大橋 亮



2月9日(木)第5回餅つき大会が、日和山ワークセンターで開催されました。

このプロジェクトの意図としては、障害者の方々が普段、施設内でどのような仕事（社会復帰の為

の）や活動をしているのか、近隣住民の方々に知ってもらう事。そして、自分がついた餅を皆に食べてもらう喜びなどなどを共感しあって、楽しい時間を過ごす事などが目的です。

あんこ餅、きなこ餅、納豆餅、とん汁、漬物、お惣菜と非常にたくさんの食材でテーブルを囲み、大成功の内に餅つき大会が行われました。

今後もクラブ一同、社会奉仕に力を入れていきたいと思っております。



新 入 会 員

白井 収

水原 RC

入会日:2012年1月1日

会社名:越後桜酒造(株)

役職:取締役 相談役

職業分類:日本酒製造

佐藤 隆之

新発田城南 RC

入会日:2012年2月16日

会社名:住彦呉服店

職業分類:呉服販売業

小見 弘

新発田城南 RC

入会日:2012年2月16日

会社名:DFギャラリー(株)

役職:代表取締役

職業分類:衣料品販売業

薄木 正

佐渡南 RC

入会日:2012年1月1日

会社名:(有)薄木

役職:代表取締役

職業分類:ホームセンター

高橋 勝紀

新潟北 RC

入会日:2012年1月16日

会社名:(株)越後開発興業

役職:代表取締役

職業分類:とび・土工事業

桐生 克彬

新潟中央 RC

入会日:2012年1月24日

会社名:(株)ライブ開発

役職:代表取締役

職業分類:不動産開発

樋口 勤

三条北 RC

入会日:2012年1月10日

会社名:(株)オーシャンシステム

役職:代表取締役社長

職業分類:日配給食業・小売り卸売り

渡辺 徹

三条北 RC

入会日:2012年1月17日

会社名:シンワ測定(株)

役職:代表取締役社長

職業分類:各種測定器製造

加藤 彰洋

長岡 RC

入会日:2012年1月31日

会社名:(株)東海日動パートナーズ新潟

役職:代表取締役

職業分類:損害保険

石黒 俊之

長岡西 RC

入会日:2012年1月19日

会社名:(株)さい花

役職:代表取締役社長

職業分類:生花販売

久保田 邦彦

小千谷 RC

入会日:2012年1月19日

会社名:(株)中越クリエイティブ

役職:代表取締役

職業分類:情報処理

桑原 正

津南 RC

入会日:2012年1月30日

会社名:津南町教育委員会

役職:教育長

職業分類:

島田 節子

糸魚川 RC

入会日:2012年2月2日

会社名:島田鋼機(株)

役職:代表取締役社長

職業分類:銑鉄配布

水澤 浩志

頸北 RC

入会日:2012年2月1日

会社名:(有)水澤家

役職:代表取締役

職業分類:料理店

内田 慎也

越後春日山 RC

入会日:2012年1月12日

会社名:合同会社 S. E. A. C

役職:代表

職業分類:翻訳・通訳

(英会話スクール運営)

物 故 会 員

心よりご冥福をお祈りいたします。

水澤 実

中条 RC

ご逝去日:2012年1月16日(享年 65 歳)

会社名:(株)ミズサワ

役職:代表取締役

職業分類:電気器具販売

2011-2012 年度 クラブ会長

第2560地区 2011-12年度 1月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	1月末 会員数	うち女性	増減
第1分区分(9クラブ)	／	87.07	332	336	30	4
新発田	3	98.29	79	80	0	1
村上	4	75.71	35	35	6	0
水原	3	80.90	21	25	1	4
中条	3	91.40	35	31	2	-4
新発田城南	4	73.87	44	44	6	0
豊栄	4	93.18	21	22	4	1
新発田中央	4	92.70	46	48	3	2
中条胎内	4	84.82	28	28	4	0
村上岩船	3	92.75	23	23	4	0
第2分区分(9クラブ)	／	85.65	392	412	23	20
新潟	4	84.58	77	88	0	11
新潟東	3	94.91	54	57	5	3
新潟南	3	92.13	71	75	0	4
佐渡	3	76.00	14	15	0	1
新潟西	3	87.88	34	33	1	-1
佐渡南	4	83.33	44	45	6	1
新潟北	4	79.06	36	37	0	1
新潟中央	4	88.79	22	23	2	1
新潟万代	3	84.21	40	39	9	-1
第3分区分(6クラブ)	／	82.60	148	149	6	1
新津	3	73.34	25	25	0	0
村松	4	88.89	7	9	0	2
五泉	3	87.00	22	22	2	0
白根	4	86.50	49	50	2	1
新津中央	4	84.85	35	33	1	-2
阿賀野川ライン	4	75.00	10	10	1	0
第4分区分(11クラブ)	／	79.51	372	377	21	5
三条	3	87.28	52	56	0	4
燕	4	75.94	26	26	0	0
加茂	3	77.18	38	38	5	0
三条南	3	89.88	48	47	0	-1
分水	4	93.55	32	31	2	-1
見附	4	72.00	16	18	1	2
吉田	4	84.00	37	37	3	0
三条北	4	80.13	66	70	4	4
巻	3	80.90	14	14	0	0
田上あじさい	4	66.60	5	6	1	1
三条東	4	67.14	38	34	5	-4

R C	例会数	出席率	会 員 数			
			7月1日 現在	1月末 会員数	うち女性	増減
第5分区分(7クラブ)	／	89.06	297	310	29	13
長岡	4	89.97	41	44	2	3
柏崎	3	87.83	44	45	0	
長岡東	3	90.70	68	66	6	-2
柏崎東	3	94.07	43	45	3	2
栃尾	3	85.51	22	23	0	1
長岡西	3	84.84	38	44	5	6
柏崎中央	4	90.52	41	43	13	2
第6分区分(6クラブ)	／	85.87	149	153	9	4
十日町	3	99.01	32	34	0	2
小千谷	4	78.33	33	38	4	5
雪国魚沼	3	82.03	22	20	1	-2
十日町北	3	91.30	25	23	2	-2
津南	3	89.54	25	26	2	1
越後魚沼	4	75.00	12	12	0	0
第7分区分(9クラブ)	／	80.64	319	319	20	0
高田	4	79.31	69	67	1	-2
直江津	4	76.56	44	43	2	-1
新井	3	77.45	33	34	2	1
糸魚川	3	76.29	36	35	0	-1
妙高高原	2	82.00	6	5	0	-1
高田東	3	81.08	36	37	2	1
糸魚川中央	3	75.00	36	36	0	0
頸北	3	97.90	16	16	1	0
越後春日山	3	80.14	43	46	12	3

クラブ数	57	クラブ
7月1日 会員数	2,009	人
1月末 会員数	2,056	人
女性会員数	138	人
純増減会員数	47	人
当月平均出席率	84.02	%

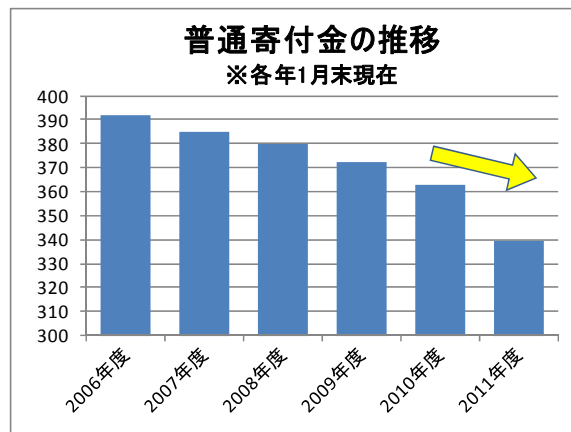


ハイライトよねやま143

1 寄付金速報 —2012 年下半期も厳しいスタート—

1 月までの寄付金は前年同期と比べて 3.9%減、約 3,800 万円減少の 9 億 4,500 万円となりました。普通寄付金が 6.4%減、特別寄付金が 2.5%減でした。

普通寄付金については、1 月末現在、全クラブの 68%にあたる 1,548 クラブからご納入いただいておりますが、昨年同期（79%、1,822 クラブ）と比較すると、納入状況に遅れがみられます。また、地区内全クラブのうち、普通寄付金を送金いただいていないクラブが 4 割以上にのぼる地区が 9 地区あります。ご確認いただき、お早めにご送金くださいますようよろしくお願い申し上げます。



ご存じですか？ 普通寄付金も税制優遇の対象です！

毎年 10 月末までに
ご申請ください！

米山奨学金への寄付金は、特別寄付金（任意寄付）だけではなく、普通寄付金（半期に 1 度、クラブ会員数分を送金いただく寄付）も税制優遇の対象となります。普通寄付金については、毎年 10 月末までに、その年の 1 月と 7 月分をクラブ事務局から申請していただくことで、申告用領収証を発行することができます。

2 新規米山奨学生が決定！

新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、2012 学年度合格者が決定しました。1,550 人の応募に対し、648 人が合格（海外学友会推薦奨学金※1 は現在選考中）。奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金が 616 人、地区奨励奨学金が 16 人、クラブ支援奨学金が 11 人、2012 学年度よりスタートした海外応募者対象奨学金※2（個人応募による）が 5 人です。

国籍・地域別の割合は、中国 53.3%（前年度 49.8%）、韓国 17.6%（17.0%）、台湾 4.0%（6.2%）、その他が 25.2%（26.9%）です。＊前年度の数字はハイライトよねやま 132 号当時

JASSO（独立行政法人日本学生支援機構）によると、昨年 5 月の調査では、日本国内の留学生在籍数は前年の 2.6%減と発表されましたが、中国・韓国籍の米山奨学金申込数は昨年より増加し、合格割合も同様の傾向となりました。これらの人数は、他奨学金合格による辞退者が出ることなどにより変動する見込みですが、今回の合格者と昨年度からの継続奨学生 171 人を合わせた約 820 人が、2012 学年度奨学生となります。

奨学金の種類	合格者
学部・修士・博士課程	616 人
学部課程	166 人
修士課程	292 人
博士課程	158 人
地区奨励	16 人
クラブ支援	11 人
海外応募者対象	5 人
海外学友会推薦	選考中



※1 海外学友会推薦奨学金：海外の米山学友会（台湾・韓国・中国）が日本留学予定者を募集し選考する。博士号を有する上級研究者が対象。採用枠は各学友会につき 1 人。

※2 海外応募者対象奨学金：日本留学が決定している海外在住の外国人が応募できる新制度。応募者の受入校が所在する地区が採否を決定する。

3

感謝の心を込めて絵画を寄贈 — 第 2640 地区 —

中国・広東省の五邑大学准教授として教鞭をとりながら、画家として活躍する米山学友、賈金柱さん（中国／1997-98／御坊RC・和歌山東RC）が来日し、2月2～6日の5日間、和歌山市内で個展を開催しました。



和歌山東RCに作品寄贈した賈さん(左)と田原会長



個展会場を訪れた地元高校生たち

賈さんは昨年の東日本大震災、そして台風 12 号による災害に心を痛め、「私も何かしたい、何かできるはず」と、9 年ぶりの来日を決意。世話クラブの和歌山東RCのほか、和歌山RC、そして米山奨学会事務局のために3点の作品を寄贈してくださいました。描かれているのは、世界遺産にも登録されている、同省開平の高層楼閣（碉楼）を含む村落群。富を築いて故郷に戻った華僑たちが両親への恩返しのために建てたと言われる碉楼の風景は、「私のロータリーに対する感謝の気持ちそのまま」と、賈さんは言います。今回の個展は地元メディアにも取り上げられ、母校の和歌山大学学長をはじめ、東京や長野など遠方からも多くの人が訪れました。当時、賈さんと家族ぐるみの付き合いをしていた和歌山東RCの田原久一会長は、「個展を開くような立派な画家になられ、世話クラブとして光栄だし誇りに思う。今後も懸け橋として頑張っ

4

上海企業から被災地への発電機提供を学友が橋渡し

このたび東日本大震災復興支援にと、上海の電力設備会社（上海科泰電源公司）がディーゼル発電機ユニット 10 台を宮城県気仙沼市に寄贈。その橋渡し役を務めたのは、立命館大学教授で第 2650 地区米山学友会会長の周瑋生さん（中国／1993-95／京都洛中RC）です。

震災直後の 3 月下旬に発電機の寄贈を決めた上海側から依頼を受けた周さんですが、当時は被災地も混乱を極め、「受け入れ先を見つけるのに難航した」といいます。手を尽くして探さ中、第 2650 地区米山記念奨学委員長の岩橋忠昭氏の協力で気仙沼RCと連絡を取り、無事に気仙沼市での受け入れが決定。12 月 10 日に同市で開催された贈呈式には、上海企業の代表 4 名や気仙沼市長のほか、気仙沼RC会長をはじめ、岩橋氏や周さんなど、実現に協力したロータリー関係者も出席しました。今回寄贈されたディーゼル発電機ユニットはすべて、気仙沼の主要産業である漁業復興のため、漁船関係の電力安定供給に役立てられます。

周さんは、立命館大学政策科学部で被災地復興のための政策研究チームを組織、また、昨年設立された日本ロータリーEクラブ 2650 の創立会員として、ロータリー活動にも積極的に参加しています。「被災地はまだ大変な状況で、息の長い支援が必要。政策科学の研究者として、また、ロータリアンとして、これからも被災地の復興のために尽力していきたい」と語っています。



寄贈式で固い握手を交わす周さん(右)

平成 24 年 2 月 24 日

ガバナー 各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 新藤 信之

拝 啓

春浅の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記 11 点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬 具

追 伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文 庫 通 信 (294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 3 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- ◎「70 周年に当り創世期のロータリーを憶う」 平島健次郎 1975 7p
(ロータリー入門)
- ◎「これがロータリーだ」 直木太一郎 1983 41p
(私のロータリー、50 年)
- ◎「平凡で偉大なロータリー精神」 末永直行 1972 20p
- ◎「シェルドン…忘れ得ぬその名」 ジョン O. ナットソン：神崎正陳訳 1998 12p
- ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
- ◎「ロータリー進化論」 前原勝樹 [1985] 19p
- ◎「ロータリーの組織と奉仕」 深川純一 2001 68p
- ◎「ロータリー広報乃王道」 佐藤千壽 1997 34p
- ◎「米山梅吉と日本のロータリー（抄）」 長井盛至 1983 31p
- ◎「四つのクラブの七つの驚き」 安積得也 1977 44p
(おゝロータリアン)
- ◎「我が自叙伝」 ハーバート J. テーラー著；菅野多利雄訳 1990 219p
[申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 365-3000]

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前 10 時～午後 5 時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2011-12 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 2-12

TEL: 025-201-7802 FAX: 025-201-7803 E-mail: ishimoto@rid2560niigata.jp

ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>